

支部社協紹介

今号では、石鎚山から瓶ヶ森、笹ヶ峰へと連なる四国山脈に抱かれた山間部（面積の約95%が山林の農林地帯）の加茂支部を紹介します。

当地域は、石鎚山を源流とする加茂川の支流谷川が地域中央を流れ、高知県に至る国道194号沿線から山間部にかけて広がる①加茂公民館等がある荒川地域②標高150～500mに棚田が広がる千町（せんじょう）地域③下津池（しもついで）風透（かざすき）中之池を中心とする藤之石地域の3地域に大別されます。

明治時代頃から銅の採掘・精錬が行われ、多くの銅鉱山（谷崎、千町、新居、基安（もとやす））に労働者や家族が集まり、また、農林産業（棚田米、野菜、肉牛、林業、木材、木炭等）も盛んで、山々に点在する集落には学校（小学校6校（分校2）中学校2校）や各々のお祭りもあり、地場産業のおかげで大正時代には人口3,000人を越える賑やかな山間部地域でした。

しかし、昭和47年の基安鉱山の閉山を最後に鉱山は無くなり、地場産業の衰退や学校の統合等が起因し、仕事や利便性を求めて地域を離れる人が多く、過疎化が進みました。

また、道路の拡張工事や鉱山閉鎖で消滅した集落もあり、先人が苦勞して開墾した土地は耕作放棄地が増え、イノシシや猿、最近ではシカの農作物被害も増え、対応に苦勞しています。

基礎的社会条件も厳しく、日暮れと共に静まりかえる山里ですが、夏は川遊び、そして季節毎に美しい山々の景観や清流を求め人が集うことは、以前と変わりません。

27支部位置図



加茂支部

支部長 上野 武雄



当支部は、山間部の広範囲に集落が点在しており利便性は悪く、高齢化率が約60%の超高齢地域で、高齢者夫婦・独居高齢者世帯が多い地域です。

よって、地域で暮らすには、個々の健康管理と住民連携は重要であり「敬老の家事業」「ミニデイ」では、血圧測定や健康講座等を毎回行い、健康管理に気をつけながら交流を深めています。また、おひとり暮らしの世帯訪問では、集落から外出する機会が少ない人とも交流を深めながら、世帯状況把握にも努めています。

平成22年より地域福祉活動の一環として「花壇づくり」をはじめましたが、無理のないよう、住民が何らかの形態でかかわり合いができるよう「場づくり」「人づくり」「仲間づくり」等を目標に掲げ、交流を主とした地域福祉活動を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

加茂地区はこんなところ



■基本情報（平成23年9月末現在）

人口 : 163人

世帯数 : 102世帯

自治会数 : 21

施設等 : 加茂公民館、加茂郵便局、
発電所 等



■名所等

千町の棚田、大福寺、誓願寺、天満神社、筋神社、風透の風穴、寒風山トンネル、密元の窟（みつげんのいわや）、止呂峡（うすぐも姫の伝説）、大樽の滝、しだれ桜（中之池小学校の跡地）、あまご釣り、キャンプ場、笹ヶ峰スキー場、扇山（1392m）、黒森山（1678m）、笹ヶ峰（1860m）、伊予富士（1766m）、瓶ヶ森（1897m）等

■伝統・行事等

加茂音頭、獅子舞、秋祭り、いもたき 等

■地場産業

林業、高原野菜（トマト、キャベツ、人参、レタス等） 等



自慢の支部事業

少子高齢社会を背景に、西条市内でも総体的に少子化が進み、子どもが減少している地域がほとんどです。

過疎化が進み、地域に唯一残った加茂小学校が休校になって15年以上経過した加茂地区では「地域に学校が無くなり、子どもがほとんどいなくなったのが、一番つらい」という地域住民の声をよく耳にします。

「子どもは地域の宝」といわれるように、通学する子ども・遊んでいる元気な子どもの姿を、地域でほとんどみかけないのは、非常に残念で寂しい気がします。

今回は、子どもや地元出身者等、多くの参加者で賑わい地域を元気にする「加茂地区運動会・総合文化祭」を紹介します。

- 1 事業名 加茂地区運動会・総合文化祭
 2 開催場所 加茂公民館・運動場（旧加茂小学校）
 3 参加者 一般
 4 内容 運動会と総合文化祭
 （運動会プログラム）
- ・輪投げ
 - ・丸太切り競争
 - ・玉入れ
 - ・大球おくり
 - ・ラケットリレー
 - ・パン食い競争
 - ・緊急出動！消化訓練 等

～ 玉入れ合戦 ～



～ 丸太切り競争 ～



加茂地区には、55年続いている「加茂地区運動会・総合文化祭」があります。

昭和30年代の開催当初は、3地区（①荒川②下津池と中之池③千町と藤之石）に分かれ、地区別の「優勝杯争奪競技大会」が開催されていました。応援も競技以上に激しく、判定ミスがあれば、応援団による小競り合いで競技も中止になる程、地域意識も強く激しい大会でした。

その後「農産物の品評会」が加わり、特に肉牛においては約40頭の出品があり、地区外からのバイヤー（買取業者）等も参加し、約1,000名の参加者で大いに賑わっていましたが、時代とともに農産物提供者も減り「農産物の品評会」は中止となりました。そして、昭和49年より、地区内の世話人さんのほかに地元出身者や関係者の協力をいただきながら、運動会を主体に、住民が出品してくれた文化品の展示等の「加茂地区運動会・総合文化祭」へと引き継がれています。

加茂地区運動会・総合文化祭の日には、地元住民をはじめ、お子さん連れの地元出身者や東予地域の山を守る「石鎚水源の森づくりボランティア」等が集い、学校があり活気があった当時を思い出させてくれる一日となります。幼児から大人まで参加する運動会を楽しみにしている人も多く、支部社協としても全面的な人的・経済的支援をしています。

加茂地区は、昭和47年に地区内4小学校が加茂小学校（平成7年に休校）に統合されて以降、幼児・児童数は激減し、地域環境も変わりました。現在地域にいる数名の児童は、バス等で大町小学校に通学しています。

加茂地区運動会・総合文化祭は、故郷を離れた多くの地元出身者やボランティア等の協力のおかげで、何とか実施できますが、日常的な地域住民の交流をより深めるため①公民館活動②ミニデイ③敬者の家④花壇づくり等、地域実情をふまえ、参加しやすい住民主体の福祉活動へと展開できるよう、支部社協も地域福祉推進活動に取り組んでいます。

～ 花壇づくり ～

耕作放棄地や空き地等に、花を植え、育てます。環境美化活動のひとつで、交流も深まります。（R194号線沿い等）



～ 敬者の家事業 ～

昼食やシネマを主とした交流事業で、昼食には地元産の食材も多く、今回は「いもたき」です。（藤之石集会所）



社協からのお知らせ

～ ふれあい・いきいきサロン ～

各地域で、195の「ふれあい・いきいきサロン」が自主的に運営し、多種多様な活動をしています。

活動を通じて、心身ともに健康で、参加者も地域も元気になることを願っています。

支部別サロン一覧表（サロン数）

玉津 (13)	橘 (7)	多賀 (8)	丹原 (20)
飯岡 (9)	氷見 (4)	壬生川 (9)	徳田 (9)
西条 (3)	加茂 (0)	国安 (1)	田野 (5)
神拝 (3)	大保木 (0)	吉岡 (5)	中川 (17)
大町 (1)	市之川 (0)	三芳 (3)	小松 (28)
神戸 (7)	周布 (13)	楠河 (4)	石根 (7)
禎瑞 (2)	吉井 (7)	庄内 (10)	

～ 地域福祉用具の貸出事業について ～

地域福祉の向上やイベントの充実のために「支部社協」「ふれあい・いきいきサロン」を対象に、次の地域福祉用具を無料貸出しています。（貸出期間は原則一週間）問合せは、本所までお願いします。

（地域福祉用具一覧）

- 力キ氷機 ■綿菓子機 ■たこ焼き器 ■鉄板焼き器
- ワイヤレスアンプー式 ■ガスコンロ ■折りたたみベンチ
- うどん釜 ■寸胴鍋 ■メガホン ■折りたたみ机
- 行軍用テント ■パイプ椅子 ■レクリエーション用具 等